

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-1-1		事業名	地域と創る冬みち事業
担当	建設局土木部雪対策室事業課推進担当 佐藤 211-2662			
全体計画				
事業内容	<p>市民要望の高い生活道路の除排雪について、地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを進め、現在の雪対策の実態を理解していただくこと、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を行うことで、市民の理解や満足度を高めることを目的とする。</p> <p>平成17年度に7区13町内会で試行し、平成18年度には「雪に負けないサッポロづくり本部」の主要課題である「市民との連携」の解決策としてこの事業を位置付け、10区176町内会で本格実施した。平成20年度までの集中的な取り組み期間後の平成21年度には、地域住民との話し合いを経て決定した取り組みを周辺町内会に拡大し、全市展開していく。</p>		<年度別の事業内容>	
			<p><平成19年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・地域の実情に即した取組の実践 <p><平成20年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・地域の実情に即した取組の実践 <p><平成21年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・これまで実践した取組を周辺町内会に拡大 <p><平成22年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・これまで実践した取組を周辺町内会に拡大 	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>・現在の雪対策の実態を理解していただくとともに、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を実践するため、新規町内会を対象に懇談会を実施 実施町内会数:105</p> <p>・実践した取組の効果等を検証するとともに、初めて参加した人にも現在の雪対策の実態を理解していただくため、これまで実施した町内会を対象に懇談会を実施 実施町内会数:161</p> <p>・平成18年度に実践した取組の効果や地域の満足度を把握するため、これまで事業を実施した町内会を対象にアンケート調査を実施 調査票配布世帯数:59,000</p>		<p>・現在の雪対策の実態を理解していただくとともに、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を実践するため、新規町内会を対象に懇談会等を実施 実施町内会数:120</p> <p>・実践した取組の効果等を検証するとともに、初めて参加した人にも現在の雪対策の実態を理解していただくため、これまで実施した町内会を対象に懇談会を実施 継続実施町内会数:83 継続町内会の取組実施町内会数:217</p> <p>・平成19年度に実践した取組の効果や地域の満足度を把握することや、降雪量の多少による地域満足度の変化を検証するため、これまで事業を実施した町内会を対象にアンケート調査を実施 調査票配布世帯数:40,000</p>	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	<p>・現在の雪対策の実態を理解していただくとともに、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を実践するため、新規町内会を対象に懇談会等を実施 実施町内会数:87</p> <p>・実践した取組の効果等を検証するとともに、初めて参加した人にも現在の雪対策の実態を理解していただくため、これまで実施した町内会を対象に懇談会を実施 継続実施町内会数:172 継続町内会の取組実施町内会数:313</p> <p>・平成20年度に実践した取組の効果や地域の満足度を把握することや、降雪量の多少による地域満足度の変化を検証するため、これまで事業を実施した町内会を対象にアンケート調査を実施 調査票配布世帯数:20,000</p>		<p>・現在の雪対策の実態を理解していただくとともに、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を実践するため、新規町内会を対象に懇談会等を実施予定 実施目標町内会数:80</p> <p>・平成21年度に実践した取組の効果や地域の満足度を把握することや、前年度から継続して実践した取組に関する地域満足度の変化を検証すること、更には降雪量の多少による地域満足度の変化を検証するため、これまで事業を実施した町内会を対象にアンケート調査を実施 調査票配布予定世帯数:16,000</p>	
事業場				
規模				
件数				
等				

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-1-1			事業名	地域と創る冬みち事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
事業に参画した町内会数	186町内会	291町内会	411町内会	498町内会	578町内会	560町内会	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 雪対策の実情を理解した上でツルツル路面に市民自らが滑り止め材を散布したり、地域の生活ルールを定め、その徹底を図るために地域住民・除雪事業者・行政の三者合同によるパトロールなどの取組を実践している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力]雪対策の実情を行政と除雪事業者が連携説明することで、地域住民とより詳細な情報共有が図れる。 [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 地域の課題等について、事業参加者が活発に話し合いができるようワークショップによる懇談会形式を用いている。</p>							
評価(成果)			課題				
平成21年度までに懇談会等の事業を行っているのは498町内会であり、その内397町内会では、地域住民自らが行動したり、地域住民・除雪事業者・行政が協働で取り組むなど、地域の課題解決に向けた取組を実践している。			地域の生活道路の除排雪における課題等を解決するために各取組を実践したが、平成18～21年度は暖冬少雪傾向という気象状況から、その効果を確認できるまで至っていない地域が多かった。 また、町内会会長等と十分な日程調整を行って懇談会等を開催しているものの、地域によっては出席率が低い地域もあった。このため、懇談内容を記した「冬みち通信」を全戸配布または回覧し、全住民への周知を図っている。				
今後の事業の予定・方向							
今年度は、事業最終年次であるため、事業対象全町内会の3割に相当する560町内会で事業実施することを目標とする。 今後は、当事業の取組成果を反映し策定した「札幌市冬のみちづくりプラン」を推進する。引き続き、市民自治の実践による「地域づくり」を進めるため、情報共有と市民参加を基本とした、話し合いの機会を創出する。加えて、過年度実施町内会のフォローアップを行い全市拡大を図り、雪対策を基本とした、まちづくり(道路環境)について市民の理解と満足度を高める。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-1-1			事業名	地域と創る冬みち事業		
事業費の推移								
		項目	19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	事業費	128,000	133,000	96,000	96,000	453,000	
		財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
			市の債	0	0	0	0	0
			その他の	0	0	0	0	0
	一般財源	128,000	133,000	96,000	96,000	453,000		
予算	事業費	事業費	128,000	111,000	72,000	43,400	354,400	
		財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
			市の債	0	0	0	0	0
			その他の	0	0	0	0	0
	一般財源	128,000	111,000	72,000	43,400	354,400		
実績	事業費	事業費	128,000	99,389	70,971	-	298,360	
		財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0
			市の債	0	0	0		0
			その他の	0	0	0		0
	一般財源	128,000	99,389	70,971		298,360		
事業費の進捗率			(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				75.4%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度]								
[20年度] 新規懇談会地区において、複数の町内会が合同で開催した地域があり、全体として開催回数が減ったことから、委託料が減額となっている。								
[21年度]								
[22年度]								